

# 幼 兒 教 育

第 二 十 一 卷 第 九 號

大 正 十 年 九 月 十 五 日 發 行

## 目 次

幼兒の數に對する觀念……………	山 内 太 一
斯くありたしと思ふこと……………	瀬 川 昌 世
獨立心の養成……………	下 川 次 郎
我が子に就て感ずることども……………	前 田 す み こ
米國の秋と音樂……………	安 村 楨 子
「子供のお家」の創立に就て……………	門 川 つ や
淀橋託兒所を見て……………	一 會 員
會 報……………	
幼兒保護事業(二)……………	小 澤 一

日 本 幼 稚 園 協 會

## 會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたう存じます。例之は初め幼稚園名にて御入會になり、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様に願上ます。整理上甚だ煩雜致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しきに互りまます場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。

○萬一本誌不著等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

### 本誌定價

一冊(郵稅共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢  
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

### 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十年九月十二日印刷

大正十年九月十五日發行

東京市外千駄ヶ谷原宿三百四番地  
編輯兼發行者 黒 瀬 巖

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷者 柴 山 則 常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷所 會社 杏 林 會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

廣島高等師範學校訓導

山本壽生・橋本留喜生・田上新吉生共著

# 唱歌劇

全國小學學校盛んに流行する新しき試み

朝はお日様出ないうち 坊ちやんたちより早く起き  
仲間がたくさん竹やぶで チュン／＼チュンチュクチュン／＼

## 第一集 舌切雀

鳥「かうもり君かうもり君 鳥と獸の競争ちや 鳥の味方になつてくれ  
獸「かうもり君かうもり君 鳥と獸の競争ちや 獸の味方になつてくれ

## 第二集 かうもり 狐と虎

ヤイヤイ馬鹿虎ヤイ 力ばかり強くても  
知恵がたらぬと馬鹿になる ヤイヤイ馬鹿虎ヤイ

## 第三集 花咲爺

あれ／＼不思議やなあれ／＼面白や 冬の枯木の杖々に  
見る／＼がゝる花の雲 胡蝶も出で、遊ぶなる年のどけき春の姿かな

◀ 定價各集金拾五錢・郵稅各金貳錢 ▶

發行所 東京市橋區南馬場二丁目 目黒書店 東京市橋區南馬場二丁目 目黒書店

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雜誌たるべく苦心して居ります

# ゴドモ

幼童  
雜誌  
良友

# 童話

本誌はゴドモの兄弟姉妹に當り、小學生の讀物として最も適當な雜誌です

近來子供雜誌や繪本類が非常に多くなつて、既に二三十種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選べるゝであらうか。

單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に任して置いてよいであらうか。

東京市小石川區 五十五番七  
發行所  
ドコモ社 電話 二九六一  
二九六一

□ 一番新しい 唱歌の本が出ました □

前東京音楽學校教授 文學士 青木存義先生著  
現文部省圖書監修官

# かはいい唱歌

一冊目

定價 金 四 拾 錢

送料 金 四 錢

名前の通り本當にかはいい唱歌であります。お家におゐでのお子様方も結構お歌ひ遊ばす事が出来ますし、幼稚園や小學校にお通ひのお子様方ならば尙更美事にお歌ひ遊ばすことの出来る唱歌の本であります。其第一冊目には、

- 一、先 生 六、お池のひこひ
- 二、さくら 七、細 飛
- 三、こねこ 八、なんだらう
- 四、ゴム風船 九、あさがほ
- 五、リ ン 一〇、波のいたづら

といふ十種の歌が御座いますが、どれもみなその道にかけて評判の高い青木先生のお作りになつた、かはいいおもしろいものばかりであります。そして曲は日本で一流といはれる五人の音楽の先生方のお拵へになつたもので、すべて綺麗な伴奏がついてゐます。さあ、どうぞ美しいピアノの音に合わせて優しいお聲でお歌ひ遊ばして御覽下さいまし。

□ 二冊目は九月下旬に出来致しますがらどうぞ一層の御愛唱をお願いします 致します

# 少年少女歌唱界の覇王

東京女子音樂學校講師 葛原滋先生 共同編  
 東京第一中學教學論 梁田貞先生  
 學習院教員 小松耕輔先生

第一集  
 學校の生徒  
 花と春  
 友と春  
 りめ遠風

第二集  
 カナリヤ  
 葉の庭  
 箱の夕  
 兵蓮と夕  
 葉の夕  
 花夕公  
 咲や  
 爺け園

第三集  
 私の子  
 親の牛  
 恐るり  
 雲だば  
 したる  
 お家ま  
 羽さ私  
 海春

第四集  
 花村  
 舟の  
 衣の  
 夏輝だ  
 水金の  
 のる鐵

第五集  
 魚  
 加藤清  
 山彦  
 大工  
 赤とんぼ  
 那須與一  
 お祭

第六集  
 新水  
 花の岩  
 天の月  
 散る旅  
 歩の歌  
 かうも  
 ワン  
 鹿の水  
 タンク

# 大正少年唱歌

第一集  
 一月一日  
 雙梅に遊び  
 雪元節お遊  
 紀元節お遊  
 ストオ節お遊  
 動窩鶴かた  
 と大鬼お玉  
 節お玉が  
 鬼お玉が  
 鳥しり

第二集  
 遊もほび  
 た人山ぼ  
 べんたほ  
 たつむり  
 つむり子  
 夕と向七  
 浦夕と向七  
 島太人日  
 休太人日

第三集  
 後車  
 馬のお電  
 立に紫鳥  
 立に紫鳥  
 立に紫鳥  
 立に紫鳥  
 立に紫鳥  
 立に紫鳥

第四集  
 餅  
 お餅  
 お餅  
 お餅  
 お餅  
 お餅  
 お餅

第五集  
 力  
 力  
 力  
 力  
 力  
 力  
 力

第六集  
 雀  
 雀  
 雀  
 雀  
 雀  
 雀  
 雀

第七集  
 釜  
 釜  
 釜  
 釜  
 釜  
 釜  
 釜

第八集  
 蜘蛛  
 蜘蛛  
 蜘蛛  
 蜘蛛  
 蜘蛛  
 蜘蛛  
 蜘蛛

# 大正幼年唱歌

第一集  
 幼稚園  
 幼稚園  
 幼稚園  
 幼稚園  
 幼稚園  
 幼稚園  
 幼稚園

定價各冊金貳拾錢  
 郵稅各冊金貳錢

發行所 東京市橋區南馬場二丁目九番 日書店

# 幼 兒 教 育

第二十一卷  
第九號

大正十年九月十五日發行

## 幼兒の數に對する觀念

東京市視學 山 内 太 一

私は、今春池袋の師範附屬小學校主事から、現職に轉任致します前、久しく小學校兒童の數學の教授を致して居りました事がありますので、幼兒が數に對してはどう云ふ觀念を有してゐるか、を一寸申上げて見たいと思ひます。

小學校に入學して來る子供達を見ますと、田舎の子供なら兎も角、都會の子供達は大抵二十位までは教へ得る位になつて居ります。然しながら、其は單に一つ二つ三つと間違ひなく順を逐うて數へるに過ぎませんで、たゞの空暗記にとゞまり、即ち、七つといふ數、五つといふ數はどんなものであるか、といふ數の内容が少しも明瞭に解つて居らないのであります。「坊ちゃんはお幾つですか」と聞くと、「七つ」

とすぐ答へますが、それでは「七つ」といふのはどの位の數かと、他のもので云ひ表はせて見る、例へば碁石七箇を出して見せて、「これは坊ちゃんのお年と同じです」といつても、何の事だか解らないのです。

家庭でも、もう直ぐ學校へ行くのであるから、數の十や二十位までは覚えさせて置かねばならない、と御兩親方が思はれるのは尤もですが、たゞ一から二十三十まで云はせたり、坊ちゃんのお年は七つだよ、とか、言葉で頭から教へ込んだのは、一向役に立たないのであります。數を澤山兒童に教へ込むよりは、十位までいよろしいから、數の内容に關するはつきりした意識を有たせたいものです。

數詞に對する觀念は、同種類の經驗を度々積む事

に依つて明らかになるものであります。鉛筆が十本ある、馬が十匹居る、手の指が十本ある、林檎が十箇ある、といふ様に、十なる数の觀念を明瞭ならしめるには、子供の生活に關係の深いもので、度々十といふ數を示すのです。野蕃人の中には、一と多どしに數に對しての觀念がないものが多く、二つでも百でも皆同じに一よりは多いとしか思はないものがあります。又或は野蕃人は五つ位までしか解らないものがあります。

都會の子供は自然に接するよりも人間に接する方が多く、人間は思想感情を表すに最もよいものと言葉でありますから、口が先に發達します。それで都會の子供は、口が非常に早く發達するのですから、數を口で云ふ事等は雜作もなく出來るのです。不自然な知識の收得をしてしまふのです。子供にお菓子とを與へます時に、子供は二個よりは三個の方を取ります、これは分量の多寡を目でみつもつて多い方を取るものであります、このやうに自分に對する利益から次第に數に對する感じが表れて來るのであります。量の多寡に對する見別けは、數の解らない二三歳位で既に充分に始まつて居るのであります。

數に對する正確な觀念を養ふには、「數どり」で練習させればよろしいのであります。「三つ」といふ數を教へようと思つたら、先づ子供の指三本を用ひて「三つ」と云ふ數を正確に教へます。それから石で三つを出させて見る、麩で三つを數へさせるといふやうにするのです。それから十まで數へるやうになりましたら、いつも一から十まで順々に數へさせず、七の前は幾つか、七の後はいくつか、六の二つ前は幾つか、五の三つ後は幾つか、と色々手をかへて教へ込みます。「いろは」でも、「ち」の前の字は何か、「と」の二つ後の字は何か、と大人に向つて聞きましても、ちよつと解らないのですが、數に對する觀念はこのやうに「いろは」に對するやうではいけないのであります。

人間が十進法を用ひてゐますのは、指が十本あるから起つたのであります、別に他に理由がないのであります。昔は五進法を用ひた事もありまして、琉球の人々は五進法を用ひた傾向があります。

私には四人子供がおりまして、長男は唯今尋常三年生に居りますが、これは記憶力が大層よいのです、其の代り極めて自由な思想を有して居ります、

趣味などは幼稚園の子供位しかないので、知識慾は極めて發達してゐるのです。この子が小學校に參ります前には、私自身が數學に興味を有して居るものですから、百までの數を教へたのです。十までの數を教へるのは、手の指十本をつかつて覺えさせればよろしいのですけれど、十一以上になつた時には、十一といふのは十と一つだから、十本指を出して一つ後から加へる、といふやうに、指で以て始めから教へさせてやつたので、二十五と三十四とはどの位かなど、云つても、ひざりで二十と三十とでは五十、五と四とでは九、皆で五十九だとわかつたのであります。勿論小學校へ行かない前の子供には、計算まで教へる必要はないのですが、私の長男は至つて自由な性質な子供で算術のお稽古なぞとさきめて教へてはだめですから、遊んで居る折に、折にふれて教へるやうにしました。

つまり幼い子に數に對しての觀念を明瞭に與へるには、先づ分量の多少を見わけけるやうにさせ、それが出來たら「數ざり」で數を練習させ、十位まで覺えたらたゞ數へる事ばかりさせず、何處をこつて尋ねても解るやうにさせることです。

警視廳では此の程管内即ち東京、八王子の兩市、荏原、豊多摩、北豊島、南足立、南葛飾、西多摩、北多摩の八郡並に伊豆七島、小笠原諸島に於る大正八年一月一日から同十二月三十一日に至る滿一ケ年間に死亡した乳兒と五歳以下の幼兒に就てその原因其他に關し調査したがその總數二萬九千四百九十三名でこれを郡市別にすると東京市が總數の五割七分を占め以下北豊島の一割弱、荏原の七分強、南葛飾の七分弱、豊多摩の六分などで最も少いのは海南の樂土小笠原諸島である更にこれを東京市内だけに就て見ると死亡總數で乳兒は一萬二百五十一幼兒六千五百四十七合計一萬六千七百九十八名で各區別にすると最高は本所で實に一割五分を占めてゐるそれから淺草の一割三分深川の一割一分などの順で一番少いのは四谷で僅々二分弱に過ぎない細かい數字を表示すると次の如くなる

區別	乳幼兒死亡數	百分率	順位
神田	一、三三三	七、〇二五	二四
麹町	一、二八五	七、〇二五	二五
日本橋	一、〇五二	三、三三三	二六
芝	一、〇五二	三、三三三	二七
麻布	六、六〇〇	三、三三三	二八
赤坂	三、三三三	三、三三三	二九
四谷	三、三三三	一、九七五	三〇

區別	乳幼兒死亡數	百分率	順位
牛石	一、三三三	四、四四四	一〇
小石川	一、〇三三	三、三三三	一一
本郷	一、〇三三	三、三三三	一二
下谷	一、〇三三	三、三三三	一三
淺草	一、〇三三	三、三三三	一四
本所	一、〇三三	三、三三三	一五
深川	一、〇三三	三、三三三	一六
川所	一、〇三三	三、三三三	一七

# 斯くありたしと思ふこと

醫學博士 瀨川 昌世

## ○壯健な身體と善良な習慣の

### 基礎を幼時期につくりたい

子供を丈夫に育て、立派に教育するのは母の第一の務であること云ふ事は、私が申す迄もないのであります。近來幼児の保健保護を國家が進んでやるやうになつたのは、子供の健不健が、國家の將來の盛衰に重大な關係があるからであります。わかりやすく申せば、大人が健康であるか虚弱であるかは、其人の幼年時の健康不健康に依つて定まるものでありますから、健全な國家をつくる爲には、幼児の健康に留意して、保健保護の務によるより外に道はないのであります。私は内務省の保健調査會員として、兒童の保健保護にたづさはつて居りますから、其に就いて氣のついた事を少しお話ししたのであります。

現在に於ける小兒の保護教育の様子を見ると、學

業成績ばかりを重く見て、健全な體の養成(保健)善良な性質の養成(德育)に注意をはらつて居らないやうです。之は、子供自身にも、又子供の親としても、又子供を教へ導く教育家にとつても、健全な體や善い性質よりも、優秀な學業の成績の方が、現在にはめだつて有望なやうに見えるからだと思ふのであります。然し、幼時學問が出來ると云ふ事は、子供の前途、國家の將來には、おもしろくない事と思ひます。それが爲に、むやみに弱い子供でも頭のにぶい子供でも、一切かまはずに、叱つたりすかしたりして、無理に勉強させる、病後恢復の時期にも、健康の恢復せぬ中に、無理に學校へやる、教師もむやみに學校へ出ることを勧める、充分休養をする暇もやらずに、缺席の少いのを誇りとする傾きがあります。小さい子供(小學校卒業位)に、名のいゝ學校に無理に入學させようとして、無理な試験勉強をさせ、子供に心配させて、子供の體とか性質等に向

かまはぬのを見ます。之は、畢竟現在の子供の親や教育者自身の子供の時の有様や、現在肩書萬能時代を標準として、子供に強ひるから起るのであります。今後は、體の健全、善い人格、能力、即ち働ける人間が、最も社會に優秀な位置を得られる時代となると思ひます。子供の將來を考へたならば、子供の時に、健全な體を養ひ、善良な性質を築き上げる事を心掛けねば、一生の不幸を來します。學問は健全な體を持つてゐて、よい性質があればいつも出來ます。壯健な體と善良な精神は、幼少の時に基礎をつくつておかねば、大人になつて手遅れとなります。この事を世の親たち、教育家達にお話し申したいのであります。

### ○運動遊戲の時に共同責任義務の考をもたせたい

近來學校でも體育に注意して、意を體操遊戲に用ふる事は、結構な事でありますが、この勢を利用して、子供に共同責任義務の觀念を頭にしみこませたいと思ひます。一體、日本人は、共同でものをする事は甚だ不得手であり、共同一致の性質に缺けてゐ

ると思ひます。個人としては、立派な事業家でも、何々會、何々協會の仕事になると、少しも共同する事が出來ず、議論ばかりして何も出來ないのであります。これは、外國人どよほど違つて居る事で、今後の世の中では、多數集合の協力が需要でありますから、この状態では外國人どとても競争が出來ないのでです。この事は、今迄の人々が子供の時から共同するといふ事に、馴らされてゐなかつたからであります。個々獨立しては勉強もし、教育もするけれども、共同一致の要素にかけてゐるからであります。これは無理もない話であります。今後の日本人には、どうしても子供の中から共同して事をするといふ事を、頭に入れて置く必要があります。共同して物をしなければ、物事は大成しないものだといふ事を知らず／＼に習慣的に頭に入れて置く必要があります。この共同一致の精神は、教場で先生が話をしたり、讀本で教へたりしても、あまり効果がないだらうと思ひます。私の考では、運動競争遊戲の際、團體的遊戲をして奨励したならばよろしいと思ひます。幼児でも、團體の一人として運動をする時には、共同すると同時に、自分の義務、責任も、頭に自然にし

み込むものであります。私は子供の遊戯の種類は知りませんが、例へば綱引きのやうなものやバスケット・ボールのやうなものでも、自分一人でやるばかりでなく、他人と協調協力してやらなければ、到底勝つ事が出来ない、と云ふ精神と同時に、自分が一人でもどうしてもしなければならぬといふ義務、責任、——義務責任といふ言葉の意味はわからなくとも、その内容——を頭にしみ込ませることが出来ます。

私は、中學、高等學校、大學時代に選手をやつてゐました經驗上、現在でも、色々相談し、共同して仕事をする場合に、昔やはり運動をやつた人間が、共同することがやりよいと云ふ事から考へついで、小學時代から運動の際に共同の精神を養つて置いたならば、種々な相談會、會合の時に、議論ばかりして内輪もめしては、會の事業が何一つとまとまつて出来ない、と云ふ今の日本人の一大缺點が、多少でも矯正する事が出来ると思ひます。

### ○どせう屋

夏の夕、山の手のとある家に、どせう屋が荷をおろ

して、どせうをさき始めました。近所のやつちやんと進さんと親子さんがすぐにかけつけました。三人は竿にあげられた魚、狙の上におどる魚、どせう屋の手につかまる魚にも次々にいそがしく眼をうつしてゐましたが、その中で三人の眸はどせう屋の手にあつまりました。

「あら、さらされてしまふわ。」

「いたいだらうね」

「やあ、ちゆうつて泣いてるよ。」

片唾をのんで見てゐる三人の口からは時々かういふ言葉がもれました。

どせうはどん／＼出来てお皿に車形にならべられて行きました。親子さんは面白くてたまらないといふ様に見つけてゐましたが、やつちやんと進さんは、ふと、少しはなれて下してあつた桶の中にあるどせうに氣がつかしました。たちまち四つの小さい手はその桶に亂入しました。濫い手をきらつて、どせうがにげまはるのが面白いので矢鱈につかみ始めました。

しかし、どせう屋のをぢさんは少しも氣がつかずに、せつせと割いて、次々に皿へならべてゐました。

## 獨立心の養成

文學博士 下 田 次 郎

教育といふものは、人を獨立せしむる爲の準備である、と云つてもよろしいのであるから、それには其のつもりで小さい時からなるべく子供の獨立心を養ふことが必要である。ところが、富有の家庭になると、さかく多くの召使を置いて、子供の用をさせるものだから、子供が自分ですればよい事をも、女中がひきこつてする。其をしなければ女中の用はないのであるから、出されても仕方がない、女中にとつては、子供の世話をしなければならん事になる。従つて、小さい時から子供は、たゞ人にのみよりするがくせがついて、成長してからも、自分では何も出せず、總て人の手を借らねばならぬやうな事になる。さう云ふ風にして育てられた少女があつて、或人が「若し火事があつたらどうしますか」と聞いた所、「ベルを押します」と云つた話がある。火がついて來ても、自分は人の來る迄待つてゐるつもりと見える。さう云ふ少女が、他日家庭の主婦となり母になると、

家庭は少しもおさまらず、母としてのつとめも出來はしない。それで、富有の家庭でも、小さい時から女の子は、かひなく働いて、自分の事は自分の力にかなふ限りは、自分でする習慣をつける事が必要である。男の子でもその通りで、人手はあればありしだい、なければなくてもすむことが多いものであるから、なるべく人の手をわづらはさず、自分でするやうにしたものである。

これは或る上流の子弟の話であるが、或時修學旅行をした時、一人の生徒は風を引いた。それは家では湯からあがると、召使がタオルを持つて待つて居て、體をふいてくれるので、宿屋でもさうと思つて、湯から出てぬれた體で立つてゐたものだから、風を引いたと云ふ事である。いま一人の生徒は、のどに魚の骨をたて、苦しんでた。それは家では魚を出すのに骨をとつて出すものだから、魚に骨があるといふ事を知らなかつたので、宿屋で魚を食べて骨がの

どに立つたといふ事である。そんなもので、さか  
人手で人まかせにしてゐると、世の中へ出てどん  
損害を蒙る、不利をまねく事が少くないと思ふ。

この頃は女中が拂底で困つてゐる家庭が多いと云  
ふが、それは子供に自分の事を自分でさせ、又家庭  
の事を手傳はせる機會を與へるものであるから、教  
育的に云へば、むしろ結構である事もある。大きく  
なつたら自分でやらすと云つても、急に出来るもの  
ではないから、幼時から獨立自治の精神を養ひ、な  
るべく實行したいものである。

幼児の雑誌や繪本を見るにも、親や召使が頁をあ  
けて見せるやうな家庭がある。さう云ふ家庭の幼兒  
は、他に行つて繪本を出されても、自分であけて見  
る事もしないで、人があけて見せてくれるのを待つ  
てゐる。繪本に限らず、その流儀であるから、經驗  
を得るにも損であるし、何か、消極的になつてしま  
つて意氣地のない人間になる事もある。

日本人は自分の子を可愛いがる、日本は子供の極  
樂世界である、等といふ事を西洋人が云ふことがあ  
る。實際その通りで、日本人は西洋人から見ると、  
子供を可愛いがり方が大きいやうである。然し、其

はむしろ愛の濫用で、必ずしも教育的ではない。例  
へば、日本では小さい子供を遊ばすにも、親の干涉  
が過ぎる。西洋では、あぶなくないやうな用意をし  
て置いて、あとは子供の遊びまかせにして置く、子  
供の一擧一動について、やれあぶないとか、それ怪  
俄をするとか、一々親が口を出して干涉するやうな  
事はしない。大概は知らん顔をして、子供のするま  
まを見てゐる。

それで日本人の目から見れば、西洋人は餘り子供を可愛いがらぬ  
やうに見えるかも知れぬが、實際はさうでなくて、教育的見地から  
して、餘り干涉せず、子供のやるやうにさせて、つまりその獨立心  
を養成するのである。子供はあまやかされるものほど、獨立心がな  
く、意氣地がない。

それで眞に子供を愛するといふのは、たゞ子供の世話を人を雇つ  
て見てやるといふのではなく、さしつかへのない限りは、大概の事  
は子供自らにさせて、危険や間違に對して注意すればよいのである。  
然し、いかに獨立心を養成すると云つても、まるきり子供のするが  
儘に放任して置いてはいけない。手が足らぬ事を口實として、親の  
すべき事もせずに置いてはいけない。幼稚園に遣入つて子供を見て  
も、家庭でどう云ふ風に教育されて来たかは、大概わかるものであ  
る。大勢の人手にかゝつて、何もせずに来たものかそれとも自分の  
事は自分でするやうにしつけられて来たものか、よくわかる事であ  
る。幼児の教育に、色々の注意もあり、注文もあるが、此處に云つた獨  
立心を養成する事は、その大切なものゝ一つであると思ふのである。

## 我が子について感ずることゝも

醫學博士 夫人 前田 すみ子

日に日に新しく進んで行かれる皆様の中で、朝から晩まで澤山の子供達の世話にばかりかまつて居りまして、私自身も昔の儘の古い教育をうけたばかりで、一向進歩して行く事も出来ませんのに、かれこれ子供の教育のお話等はどても出来ない次第でございます。六男の護郎が唯今七つで、お茶の水の附屬幼稚園に通學して居ります關係上、其處に通つて居られる方々と教育上のお考へでも伺うて、頭の古い私の參考にでも致せばよろしいのでございますが、それさへなかく出来かねて居ります。

護郎は幼い頃二三歳までは、身體が餘り丈夫でございませんでしたので、身體の健全といふ事を第一に心掛けました。醫者の家庭に居ります爲か、身體の健全といふ事が何よりも大切なやうに思はれます。身體の健全はどうしても、食物に依るのでございますから、食物の事は一更氣をつけて居ります、これと云つて、別に新しい改良といふ事もございま

せんが、とにかく子供の體質に合つた物をたべさせるやうにして居ります。子供の食物に就いて何か新しい規則だつた研究をしたいと思つて居ります。又子供の衣服としては、やはり洋服の方がよろしいと存じ、立派なものは出来なくとも、相當なものは家庭でつくる考へで居ります。運動をする上にも、經濟の點から見ましても、洋服の方が結構でございます。衣服改良會等に、よく御誘ひを受けますが、忙しいもので、つひ何處の會にも出席致しかねて居ります。

子供には、身體の健全と、精神の修養とから、郊外散歩を奨勵して居ります。日曜日には、郊外の空氣のよい所に連れて行つて、思ふ存分遊ばせることは、身體をよくし、頭腦を爽かにします。その他、醫師のやうに人々の出入の多い家庭で、子供の教育上注意しなければなりません。澤山の人にもまれて、子供らしい心持ちを失はないやうにする事であ

ります。看護婦や患者の方々に、ざわ／＼して居ります所には、出さないやうに致します。幸い私宅では、病院の方と宅の方と建物が別になつて居りますので、さほど監督に注意が要りませんが、病院と自宅と一緒になつてゐるところでは、誠に氣をつけねばならない事と思ひます。

護郎は、趣味としては、繪とピアノが好きらしく見えます。これは多分小さい時體がすぐれませんで、ノートに鉛筆で、電車や自動車、繪を描いてゐましたのが、基となつた事と思はれます。今でも暇さへあればいつも何かを描いて居ります。又ピアノが好きになりましたのは、護郎の姉が宅に居りました時分に、ピアノをよく弾いて居りましたもので、この子もいつの間にかピアノに手を觸れることが好きになりましたのでございませう。幼稚園で教へて頂く唱歌を、宅へもどりまして譜を見ずに、すら／＼と弾くこともあります。ピアノを一日に一回位づゝ先生に来ていたゞいて練習をさせやうかと思つて居りますが、男の子なものでございませうから、それもどうかと思つて居ります。

この子は、上の兄さん達が大學と中學へ行つて居

りまして、年が違つて居りますもので、家でお友達がございせんものですから、幼稚園へお願ひしてゐるのでございますが、小さい子供を幼稚園にやるかやらぬかといふ問題は、色々やかましく云はれて居ります様ですが、やつぱり幼稚園が近くでございませうれば、その方へ通はせた方が子供の教育上効果があるやうでございませう。子供に就いては、科學的に研究して居られる先生方が、毎日つきそつて教へ導いて下さるのでございませうから、とても家でございませうしてゐるのとは全で違つて居ります。

子供は將來どう云ふ風に教育してゆくか、父の職業をつがせべきものかどうかは、未だ年が小さうございませうから、わかりませんでございませう。昨年幼稚園にあがりたてに、初めて粘土細工をいたしました折に、先生が何でも好きなものをつくるやうに言はれました。その時他のお子さん方は、ワンワンや電車等をつくられたさうですが、この子は小さい丸いものを幾つもつくりましたので、先生が何ですかとお尋ねになつた時、これは丸薬です、と云つたさうでございませう。後でこの話を聞いて皆で大笑ひをいたしました。やはり醫者のうちに育つてゐる爲に、

いつかそんなやうな事が心にはいつてしまつたのでございませうが、この一時の出来心のやうなあらはれを以て、この子は醫者に適してゐるかどうか等といふ事はわからないのでございます。たゞ將來醫師に適するやうでしたら、さうしたいと思ひます。

私共は、もと名古屋屋に居りましたのでございます

見たまゝ

六つ位の女の子をかしらに四つ位の男の子と母さんの背に負はれた三つ位の女の子とが雨のしどろ／＼と降る九月の或る日、院線に乗り込まました。車中の一人は、すぐこのお母さんに席をゆづりました。背の女の子は腰掛のところに立ちました。上の二人も割り込む様にして狭い席に立つて窓外をながめておりました。その中に一番末の子がお母さんにしきりに何やらねだつておりましたが母さんは、風呂敷包の中から大きなバナナを、しかもまだ青いところのあるのを一本、そのまゝ與へました。上の二人はこの時、すぐふりむいて欲しさうにしましたが、母さんの權幕にあきらめて、また窓の外を見つゞけました。それでも時々横目で妹の口元をにらんでゐるのでした。

バナナを手にした女の子は、いきなりその皮をなめ始めました。端から端まで。母さんはだまつておりました。何か考へごどもしてゐるかの様に。その中一方の端から皮のまゝかちつておりましたが思ふ様にたべられないので母さんにむいてくれと云ひました。母さんはむきました。それもすつかり皮をどつてやるでもなく、皮と肉との間にある纖維もそのまゝにして渡しました。見る間にバナナは喰べられてしまひました。皮の内面まで齒のあとがたてられて。この子はこれがすむと母さんの懷をさがしました。足をばた／＼させて隣席の乗客の胸の邊をうちながら乳房をなぶつておりましたが、それも倦きると母さんの手にある蝙蝠傘の柄をしやぶりはじめました。雨水と手垢でよごれたのを、やがて降車驛近くになるとこの子は無理に母さんの背のせられておぶひ紐で結ばれました。いやだといつてちれてぬぎすてゝあつた足駄をはいて傘をもつて母さんのおとすつておきました。電車がどまつた時二人の兄弟は、めい／＼ぬぎすてゝあつた足駄をはいて傘をもつて母さんのおとすつておきました。その時姉さんの方が先に末の子のすてゝあつたバナナの皮を見つけて弟に示しました。弟は手にとつて食べる處が残つてゐないかごみておりました。母さんも三人の子も相當な服装をしてお

ました。(丁子)

が、私共の知合の醫師の方でお庭に見事に柿がなつて居りますので、ある秋御女中さんがお子さんの望むにまかせてさし上げたら一晩の中に死んでしまつたのを存じて居ります。子供をもつ親は、かううしたわづかの出来事の爲にとりかへしのつかぬ事をせぬやうに注意したいものでございます。

## 米國の秋と音樂

安 村 楨 子

夏の間は海濱や山間に避暑する人々が多うございますから、さうした避暑地に於ては音樂が盛んに行はれて居ますが、九月の聲を聞きますと、そろ／＼避暑地から人々が都會に集つてまゐりますから、ニューヨーク、ボストン等では、秋は音樂のシーズンになつて居ります。

何處の町を通つて見ましても、夕飯過ぎにはピアノ、ヴァイオリン、子供等の唱ふ聲が楽しさうにもれ聞えて來ます。老人も若夫婦も、隣近所の人達まで招きにあづかつて、皆仲よく揃つて集ります。日本の家庭によく見るやうな偏見といひませうか、社交馴れてないといひませうか、誰が行くなら私は行かないとか、私は音樂は下手ですから、等と惡慮慮をするやうな人はありません。それは仲よく廣い心をもつて、皆一緒に楽しみます。これは家庭の娛樂としてばかりでなく、子供の音樂の趣味を養ふ目的からも行はれてゐます。子供が六七歳位にもなりますと、

耳から教へ込む、といふ習慣をつけるやうにしてゐます。高尚なたゞしい音樂を絶えず聞かせる、といふことは、音樂に對してひとりでのよい教育をうけさせる事になります。そして初めは、いたづらのやうに、ピアノを弾かせたり、又歌はせたりして置きます。それが段々と、年齢が進むにつれて、ほんどに上手な音樂となるのでございます。かうして幼い時から、音樂に耳をならして置きますと、ピアノなしでも歌ふ調子が狂はないやうになるのでございます。それから、ダンスを教へる、といふ事も音樂を上達させるよい方法であります。ダンスをしますと、手や足を運す時に、リズムに對しての感じを得ますから、それが音樂の調子を早くのみ込む便利になります。その上、子供の事ですから、面白いマーチに合せて踊る、といふ事は、この上もなくうれしいのに違ひありません。

子供には、音樂に限らず何でもさうですが、殊に

音樂のやうに感じを重んじるものは、いやがる時に無理に練習させるといふ事が一番よくない結果をもち來らします。さうですから、子供が氣がすむ時にばかり練習させる風にして居ります。只今私の所にお出でになりますがお嬢さんがピアノの練習に喜んで居ります。お嬢さんについてくるお母様が、私も遅ればせながらピアノのお稽古をいたしませう、と仰つてお子さんと御一緒に始められたのでございしますが、かう云ふ風に御母様から熱心になすつて下さいますと、御子さん方の御上達もつと早うござります。つまり母親の教養は直接子供にうつるものでございしますから、母親からも事を始めるは一番大切であります。

只今米國ではどんな風なものが好まれてゐますかと申しますと、私が一昨年ボストンの音樂學校に通學して居りまして、昨年秋日本に歸つてまゐりましてばかりでございしますが、ライトオペラ、軽いあつさりした、而も面白いオペラが喜ばれてゐるやうです。この傾向は次第に東京あたりにも流行して來つたつあるやうです。グラントオペラやシンフォニーの

やうな壯麗な古典的なものは、或一部の人々の研究にまかせて置いて、民衆音樂としては、柔い感じのする喜歌劇が喜ばれてゐます。又芝居よりもよい文藝的活動寫眞を觀にゆく人々が多うございします。これは米國の社會生活の影響から來たもので、向ふの勞働時間が短いわりに非常に熱心に働きますから、能率が非常に高いのでございします、その代り精神を使ふ事が大したものです。私が去年歸朝いたしました折に一緒に日本に來ました三菱の技師の方がおつしやるには、同じ人數の職工で米國で三ヶ月かゝる仕事、日本では三倍の九ヶ月もかゝる、と驚いて居りましたが、實にさうでございします、會議でものびのびになるのでございします。このやうに短時間の間に、能率を上げるのですから、勞働後の身心の状態が非常に疲労しますから、むづかしい劇を見る事は身體が耐へられませんですし、それに立派な劇場にゆくには、相當にお仕度が必要ですものですか、簡單で然し上品なもの活動寫眞等が善ばれるのでございします。

日本ではまだ、音樂會が足りないやうに思はれます。あちらでは公會堂が一區に一ヶ所位は必ずも

うけられてありまして、海軍軍樂隊が雇はれまして、民衆音樂會として無料で音樂會が催されます。向ふでは、音樂家が至るところで、自分の藝術を公衆に發表する機會が多うございます。たとへば、ホテルに招かれて音樂を演奏する等といふのは、一流の音樂家にはよくあることで、日本等で云ひますと、大層下品なやうなことに思はれてゐますが、あちらで

は決してさうでなく、待遇も實に敬意を以て行はれてゐるのです。私共の學校の教授で、音樂史等に熱心な筆をこめて居られました故エルソン氏のやうな方は、音樂會のある毎に、一生懸命奔走して居られました。日本にもどうかもう少し音樂會が流行すればよいと、音樂のシーズンを前にひかへて希望して居ります。

## 「子供のお家」の創立に就いて

察母 門 田 ツ ヤ

勞働者階級のお子さん達のお世話をする託兒所は、近來各所に設立されました事は非常に喜ばしい事でございますが、中流以上の家庭の人々でも、社會生活の向上に伴ひまして、やはり託兒所の必要があるやうに思はれるのでございます。私がかねてからの希望をやつと實現する折がまゐりまして、「子供のお家」といふ名の下に、お母さん方に代つてお子様のお世話を致したいと存じて居ります。

さて私がかうしてお子様に親しみたいと思ひます

のも、私自身の身の上から切にさう感じて参りましたのでございます。明治四十一年に目白の日本女子大學を卒業後、間もなく當時臺灣に勤務中の主人に嫁しまして、二人の子供の母となつて暮して居ります中、不幸にも大正三年四月十二日、主人は亡くなつてしまひました。この時長男は四つ、下の女の子は二つでありまして、これが何事もわきまへぬ小さい子供達の不幸な生活の第一歩でございました。か弱い女の細腕に二人のものをまかせられた私は、一時茫

然として自失するばかりでございましたが、いつまでもさうして居られませんが、大正五年九月から森村男爵の經營されてゐる南高輪幼稚園の保母となり、家に残して來た二人のわが子を案じながらも、皆様の御同情のもとに、小さいお子さん達と遊んで暮して居りました。ところが又不幸に不幸が重なつて、大正六年十月二十五日、小さい女の子が電車に傷つて、可愛いさうな最後を遂げてしまひましたので、夫の遺兒も今は唯一人の長男だけになつてしまひました。かうして五年の年月を保母として送り、男の子はおかげさまで唯今尋常四年まで進みました。

私の楽しい家庭生活が主人の死と共に滅びてしまひましたから、過去八年間の思ひ出は悲しい経験ではありませんが、一方に於て有益な経験でございました。たとひ日常の衣食にさして不自由しない方々でも、私どものやうに早く御主人にお別れになつて女の手一人でお子様を育てゝられる方もおありでせうし、またこの反對にお母様が亡くなつて父様の手一つで御不自由して居られる方もありませうし、また御両親そろつて居られましても餘儀ない事情の爲にお二人そろつてお子さまのお世話の出來ない方

も居られませう、又相當社會の上に名ある御家庭でも親の愛に浴することの出來ないお子様もいらつしやいませう、かう云ふ方々はまさかに孤兒院、託兒所へ送つて、勞働者階級の人々と一緒に子供を育て欲しくない、等とお思ひになつて居られるかも知れません。さう云ふ方々の爲に、私どもの「子供のお家」では、極く家庭的にお世話を申し、御教育を申さうと思ふのでございます。

「子供のお家」には、別にむづかしい規則もありませんが、大體こんな風にしたいと存じて居ります。年齢はお友達が欲しくなる頃の四歳から小學校卒業までのお子様と致します。子供のお家を寮と園とに別ちまして、寮とはこちらに寢どまりなさる場合をさすので、園とは終日或は半日晝間だけのお通ひの方を指すのであります。先づ唯今のところでは、寮生十人、園生十人位の豫定として居りまして、入寮料は五圓、入園料は三圓として、こちらへお這入りの折に許可料として頂くことにして、他に保育料としては半日の方は二圓五十錢、終日は五圓、おやつやお辨當代は別に申受けることに致します。寮生費としては、保育料と寮費食費合せて三十圓内外とい

たします。寮生は東京在住のなるべく近親の方が保證人について頂く事にして居ります。保育に就いては、私もいろいろと心をいためて居りますが、よく幼稚園のお子さん方に見るやうに、なんとなく自分のお家とは異つたところへ行くといふやうな感じを起させないやうに、をばさんのところへ遊びに行く、といふ位のつもりで、お子さん達が喜んで来られるやうにしたい積りで居ります。お話を上げてたり、野遊びをしたり、草花いちりや、お唱歌手工等は幼稚園年齢のお子様方に、又小學校へ通はれるお子さん達には、豫習復習と、特に個性の發達に力を入れるつもりでございます。

寮醫には毎週一回來診を乞ひまして、殊にお子様方の健康に意を用ひるつもりでございます。入寮志願の方には、家族關係等を明瞭に書いて頂く他に、お子様の健康状態をくわしく伺ふ事にして居ります。養育経過といふ題の許で、「歩き初」「第一の齒」「言葉初」「乳は母乳か牛乳か」等といふ事や、持病の有無時期といふ題の下には、恐怖病、腫脹腺、眼病、ハシカ、猖紅熱、デフテリア、百日咳、遺尿等の病氣を尋ねますし、精神状態の方では、用事や命

令につけて應じ得るか否かで反應状態を見、人を見てよろこぶか否かで社交性を見、快活、温順、ハキハキ、ワガママ、グズグズなどを伺ひまして氣質を大方知るやうにして居ります。嗜好として遊びが好きか學問が好きか、食物の中では、魚肉、肉類野菜の中でどれが好きか、其他視力、聴力、吃り、怪我、習癖、種痘等の事を伺ふつもりで居ります。大層くどい様でございますが、色々參考にしたいと存じて居ります。

何しろ至らぬ私の事でございますが、助手をして下さります方と御一緒に、専心この事業にあたる決心で居ります。子供のお家の所在地は、下目黒九六四番地で、目黒競馬場の附近で、至つて廣く自然に富んで居ります上、乗合自動車經營の方が、大層私共の事業に同情を有して下さつて、市内電車終點から朝夕定刻に自動車を出して、こゝに通ふお子さん達を運んで下さるといふ事になつて居ります。たゞ今私の心にあるものは、五年の長い間朝夕手なづけたり可愛らしい森村幼稚園のお子さん方に別れる事があります。しかし希望を以て、涼しい秋を迎へると共に、自分の路に進んでゆくつもりで居ります。

## 淀橋煙草專賣局託兒所を見て

一 會 員

新宿の終點の所に赤い煉瓦の大きい建物が建てられてありますが、この高い窓からはかすりの仕事服を着てかひがひしく立ち働いてゐる女工さんが見られるのでせう。毎日かうして勞働しなければならぬお母さんの女工さん達の爲に、今年の五月から立派な託兒所が、工場内に新設されたのであります。私はいつからかこの託兒所を參觀したいと思つて居りまして、この夏休みのむし暑い日に、やつと寸暇を得て、ゆつくりと參觀することが出来ました。

職工主任今井氏の案内で、機械がめくるましく廻轉してゐる工場内の諸室をへて、材木の色もまた新しい託兒所に參りますと、今しも休憩時間のことゝて、女工さん達が疊にのんびりと休んで、赤ちやん達に授乳をしてゐました。母も子もこの休憩時間を待ちかねてゐるやうに、お母さんの顔にも、お乳を盛んに吸つてゐる赤ちやんの顔にも喜びがあふれてゐました。又少し大きい四五歳の子供らは、ゆりか

ごにのつたり、鬼ごつこをいたして、板敷の上で運動をして嬉々として遊んでゐました。

この託兒所の建築費は約一萬五千圓程で、建坪は七十五坪あります。室は、寢室、授乳室、遊戯室、保姆室、其に風呂場とこの託兒所づきの小庭園とがあります。四方硝子張りで、茶色のカーテンがついて居り、南向きですから、夏はよく風が入り、冬は暖かであります。寢室は子供達を寝せるところで、お晝寢の小さい夢をたどつてゐる子供達が五六人枕をそろへて居りました。授乳室は、赤ちやんにお乳を飲ませるところで、此處もいつぱいになつて居ります。遊戯室は板敷でありまして、隅には大きなオルガンが置いてあつて、五、六歳の多きい子には、時々唱歌を教へてやるやうにしております。又ゆりかご等の子供に適してゐる運動器具もあります。保姆室はごく小さい室で六疊位であつて、應接室もかねて用ゐる事になつて居り、食卓もそなへられて、

來客用にされてあります。

この工場には女工さんが凡そ三千人程をります  
が、その中でこの託児所に在籍してゐる兒童數は百  
人程であります。三千人の女工さんの中には、未婚  
者が大部分ですし、又既婚者であつても、夫婦共働  
ぎで有福な家計の人々は子守を置いて子供を育て、  
ゐるのもありますし、又老人のある家庭では子供は  
老人まかせにしてありますから、この託児所を利用  
してゐる人々は、かう云事情でない人々ばかりです  
から、百名程の兒童が出入してゐるわけなのであり  
ます。この中五十人は、家から母親と共に工場に連  
れて來られて夕方親が仕事がすんで歸るまで其處で  
遊んでゐる子供達で、後の五十人はお乳を飲ませに  
家から午前と午後に一回づゝおんぶして來る赤ちや  
んなのであります。

託児所には、專屬のお守さんが三人あつて、この  
人々が母親達が勞働してゐる間代つて子供達の番を  
してゐます。此處の工場の女工さん達は、皆母乳で  
子供を育てますから、牛乳の用意は少しも入らない  
のでありますし、お晝のお辨當、おやつ等は皆持參  
であります。それで工場の方では託児所の室と、布

團や毛布類をかしてやるきりで、誠に手のいらぬ託  
児所です。子供達は皆健全であります。先頃中百  
日咳で缺席した者がある位ですし、またひどい皮膚  
病は他の子に傳染する恐れがあるものですから、缺  
席を強ひるさうです。このやうに兒童の丈夫なのは、  
母乳で育てるといふ大きい原因によるのと、しかも  
午前と一回、午後と一回と定められた時間は規則正  
しくお乳をのむからだらうとの事です。

工場内には醫師二名、藥劑師一名、看護婦一名と  
が出張してゐまして、託児所の子供達の健康診斷、  
女工達の病氣は、無料で診察します。又小學校教育  
を受けてない女工達の爲めに、工場内に補習教育を  
授けてくれる學校が設けられてあつて、此處で教育  
をうければ小學校卒業した程度と同じ效力ある免狀  
がもらはれるのであります。

これは此日案内して下すつた今井職工主任から伺  
つたお話ですが、この託児所が新設されたと云ふ事  
を新聞雜誌で知つて、毎日幾通もの手紙が地方の若  
い婦人から來るさうです。さうしていろ／＼と自分  
の身の上を訴へて、託児所の保母或は事務員になり  
たいと云ふ希望者が澤山あるさうです。かうした人

○日本幼稚園協會夏季

講習會

既報の通り本會主催の「幼稚園に於ける唱歌」の講習は七月二十五日から二十九日迄開かれました。講習をうけられし方々は百五十餘名、誠に盛會でありました。酷暑の際にもかゝはらず講師の先生方が誠に熱心に御指導下さいましたので、一同、時の立つのもわすれて日暮までいそしむ日もありました。講習でいたしました歌曲の主なもの次は次の様でした。

- 一、ニコ／＼／＼の歌、二、靴が鳴る、三、お庭の草花、四、汽車、五、こん／＼小山の六、お山のお猿、七、金魚、八、ブランコ、九、すゞめ十、ぼつぽのお家、十一、正直爺さん、十二、雀のお宿十三、十五夜お月さん、十四、白い／＼お月様、十五、おもちつき、十六、お月様、十七、あられ、十八、ほうほう螢。

人は可成りの教育を有し、高等女學校位は卒業した人々で、保母になつて其の道に一生を捧げたいからといふ人や、労働者階級を主題とした小説を創作して見たいからその材料を得る爲に保母になりたいと云ふ人や、また確乎たる目的もなく都會へ憧れて上京したい爲めの口實にかう云ふ事を言ひ送る人や澤山ありますので、今井職工長は一々私の方では採用しないからと云つて、父兄の目に觸れるやうにわざと端書で返事を出してやるさうです。若い婦人がしつかりした保證人もないのに上京するのは全く危険な事であります。しかし中には父親がわざ／＼端書を以て上京して来て、娘の希望やみ難いからとて、切に願ふ人もあるさうです。何しろ地方の處女の中には目に見えない潮の流れがどし／＼とおしよせて来てゐるらしい事を知りました。

暑い日の一日の參觀でありましたが、色々の事を得ました。この雑誌の愛讀者の方々も、お宅の御近所の託兒所をおひまの折參觀されたら御感想をお記しくだされば幸と存じます。

○今秋開催二市聯合保育會提  
さるべき

出問題

一、京都市提出問題。

(一) 談話題。

「發育異常の園兒に對する特別取扱に就て」。

説明。

園兒中の發育異常のものに對し或は特別組を編成し或は個別的の取扱を以て其缺陷を補ふ必要あるべし尙又特殊の性癖矯正に就ても同様の必要あるべし是等の方法に關し意見若くは經驗談を承はりたし。

(二) 協議題。

「各市に存する託兒所を本會に加入せしむるの可否」。

説明。

現今社會の一として各市共に託兒所の設置せらるゝもの漸次多きを加ふるが如し、幼稚園の保育事業と託兒所の事業とは多少其目的と範圍とを異にするものあるも兩者の間に共通の點も亦尠からず従つて相互の間に密接なる聯絡を保ち

研究を共にするは時勢の要求上必要ありと認む是れ本題を提出する所以なり。 以上

一、大阪市提出問題。

幼稚園に於ける動物飼養及植物栽培の狀況竝に夫れに對する將來の希望を承りたし。

説明。

大都會の幼稚園に於ては幼兒をして自然に親しましむるに多大の苦心を要すべし。茲に於て現在各幼稚園に於て如何なる種類の動物を如何なる方法を以て飼養し且つ如何なる種類の植物を如何なる方法を以て栽培されつゝありや。

夫等と幼兒とは如何なる關係を有するや又將來夫等に關し如何なる希望を有せらるゝや詳細に承らんごす。 以上

一、神戸市提出問題

(昨年保留となりし問題)

幼稚園時代の教育に於て主力を注ぐべき點如何。

説明。

フレーベル先生は其崇高なる理想の實現に御努めなさいました、モンテッソリー女史は感覺教育を幼兒教育の基礎と致されたと思ひます、是

等の諸先生と時代も進み土地も違つて居る現代の我邦の幼稚園の教育は又其れに應じて新らしい教育の目的を考へ其の點に主力を注ぐべきではありますまいか

現代の社會の狀態最近に諸學者の多くの研究によつて明かにせられた幼児心身の發育狀況及皆さんの實際上の御經驗などを基礎として御立論あらんことを切望します

以上

## ○保姆待遇問題について

### の運動

保姆の待遇の事につきましては、疾うより考へられて居た問題でこの事は既にかの第一回全國幼稚園關係者大會に於て建議せられて居りました。そこで日本幼稚園協會に於てもそのころから倉橋氏は本會主幹として、幾度となく當局に陳情されました、其後評議員の藤井氏は引續きこの運動のために奔走して居られますが、未だこの機運に達せぬためか實行する所まで運んで居りません。關西地方に於てもこの問題は極めて熱心に攻究せられ望月氏のごときは幾

度か本會に獎めてその活動を促されたのでした。而して今回、いよ／＼京阪神三市聯合して代表員を選び目的貫徹に力をつくす事となりました。即ち京都豊園幼稚園主任姫宮梅野、大阪江戸堀幼稚園主任勝たけ子、神戸幼稚園長望月クニ子の三氏は今夏休暇を利用して該問題のために上京されました。本會の藤井評議員、坂内幹事と會合種々打合せの上、『市町村立幼稚園保姆に年功加俸を給せられん事』を當局に向つて歎願する事に決しました。即ち三氏は、去る八月二十六日、文部大臣を訪問し、面會の上充分なる了解を得たので、次いで南次官、赤司普通學務局長にも長時間に亙つて委しく陳述致しました。その結果は當局とてもこれは當然實行すべき問題でありながらそのためには法令の改正も必要でありまた種種の實行難がともなつたために、今日に延びたので、この上充分の研究を重ねて來年度の豫算には出す事にする」といふ迄の諒解を得たのであります。此の運動にあたり乗杉督學官(本會評議員)は特に力を添えられ種々の便宜を與へて下さいました。本會は代表者となつて親しくこの衝にあたられた三氏の勞を謝し、當局が一層この上ごも、この問題の解決のためには奔走して下さる事を希望して居ります。

# 幼兒保護事業 (二)

夏期講習會に於ける筆記大要 II 内務省囑託

小澤

一

## 序論

### (一) 最近の社會的趨勢と幼

#### 兒保護問題

社會的生活……近時我國に於ても、社會問題、兒童保護又は幼兒保護等の事が段々唱へられるやうになつて來たが、是等の事は何ういふ意味のものであるかその眞の知識がまだ普及してゐないと思ふ。元來是等のことは、東西共何れも永い歴史を経て人類の社會的變遷が生んだものである。昔は人間の生活は單純且つ容易であつたが、今では社會的協同生活と人口増殖、經濟的變遷、生活困難等の事に依り、善し惡し共に社會的影響を受けることが非常に多くなり、さうして協同扶助の生活をなさねばならぬこととなつた。即ち吾人の生活が社會的になつて來たのであつて、茲に貧困其他社會生活に重大關係ある

種々の問題が起つて來た。さうしてこれを救濟し、人類社會の福祉を増進せんとする種々の事業、運動が發達し來つたのである。其故に吾等は今の社會を了解することが必要であつて、さうして互に吾人の内的生活を辿ると共に此の社會生活に貢獻する働をなさねばならぬ。今日では吾人の個人生活、家庭生活より、一國の事に至る迄社會生活といふことがその一基調となつて居るのであつて、政治、産業、教育、宗教衛生等協力して社會國家の福祉と發達を圖つて行かねばならぬ。是等社會問題、社會事業等の意義については後に尙説明すべきも、社會事業とは單に救貧其他消極的な事業ではなく、慈惠博愛の精神に立つて、社會の福祉、國力の増進を圖る積極的公共事業である。社會事業中でも殊に兒童保護がさうであり、幼兒保護に至つては一層さうである。

歐米の社會事業……社會問題の劇甚なことは從來歐米諸國の長い歴史上の事實であるが、我國にも近

年愈々此の社會的變動が著しくなつて來た。これは社會國家の生活が、複雑になつた物質文明の結果であつて、當然のことである。歐米に於て社會事業が非常に發達し來つた事には種々の理由があるが、此の社會問題が早くから劇しかつた事も其の一因である。さうして歐米にては最も美しい博愛的事業として又社會國家の福祉と國力振興の根本策として各國共社會事業に至大の力をそゞぎ、非常なる發達を遂げ來つた。殊に歐洲大戰の前後に於て各國共社會問題を政治經濟産業、教育等の根本として最も重大視し、戰後國力の恢復、増進の基礎として益々社會事業殊に兒童保護に各國競つて最大の努力を傾注してゐる。英國は大戦參加と共に舉國一致し、國家の運命を賭して戦ひ實に辛い經驗を嘗めた。さうして戦争最中に宰相ロイド、ジョージを始め一方國力の涵養について、極めて苦心經營した。即ち新たに改造省を設けて國家の經營に當てた。改造省に依り若くは他との協議によりて出來た主要な計畫として、國民義務教育の擴張と妊産婦及乳兒保護の法案が通過した。戦争半の一九一七年と一九一八年に前者は健全なる國家發達の基礎として國民教育の完成を期

し、後者は大戰に依る人口の損失を救ひ國力増進の基礎を樹てんとしたものである。英國は從來とても義務教育の完成に力をつくしたのであるが、獨逸が多年行ひ來つた處に依つて更に補習教育を義務教育とし中等教育を受けず、徒弟其他勞働に従事するものには十八歳迄義務として補習教育を受けしむることゝした。妊産婦及乳兒保護の法律は妊産婦及乳兒が凡べて公共團體の手によつて周到なる保護を受け得ることゝし、全國に妊婦及乳兒保護委員を選定するることゝなつた。又米國に於ても大戰時中大統領ウエルソンを始め識者は全國民の三分一以上を占むる兒童の徹底的保護教養に努むることが戦争に對する國民の後援に次で最も愛國的行動なりと信じた。米國は一九一六年四月八日に參戦し一九一八年四月八日より十九年四月八日迄一ケ年を兒童年と稱し、勞働省の兒童局が主となつて兒童保護の運動を行つた。其のモットーは「健全なる兒童は偉大なる國家の礎なり」と云ふのであつた。又翌年政府は華盛頓に米國兒童保護協議會を開き聯合國よりも參列を求め、協議の結果兒童保護最低標準を定めた。これによりて米國政府は凡ての兒童の保護即ち母性、嬰兒、幼

兒より始め、學童勞働少年其他特別注意を要する兒童等凡ての兒童を丁年迄徹底的に保護する標準を攻究し、各州是に基いて法律を制定するに至らしめんとするのが協議會の目的であつた。さうして協議會で最低標準を定めた上、各都市に於て宣傳的協議會又は講演會を開いた。是等は英米等の外、歐洲諸國に於ては何れも戦後の經營、國力恢復及増進の根本として兒童保護殊に幼兒保護の施設及幼兒福祉増進運動に各國共重大の努力をなして居る。

**幼兒保護問題の重要**……以上は最近に於ける社會國家の趨勢と兒童保護事業につき一言したのであるが、幼兒保護事業は極めて深大の意義がある。社會國家の問題であり國家的の事業運動である。幼兒保護とは大體幼兒の保護施設と福祉増進運動とであると言ひ得る。而してその内容の如何について幼兒保護事業の種々なる施設及運動の目的並組織と共に先づ此の事業及運動の基礎となつて居る幼兒保護問題と幼兒保護の科學的研究とを併せて述べねばならぬ。然らざれば幼兒保護問題についての眞の知識を得、その精神を了解して斯業に盡す力を得ることが出来ないと思ふ。

## (二) 社會事業の變遷と幼兒保護

**社會事業の變遷**……慈惠救濟の事業は東西共に往古より起り宗教其他博愛的精神により貧窮孤獨の老幼を救ひ來つた。斯く救濟事業は最も古いものであるが、近代に至る迄は主として個人的救濟を唯一の理想とし來つた。然るに近世の社會並思想上の變遷に依り救濟事業の觀念は非常に變化をなすに至つた。近代の最大なる進歩は科學的知識の發達であり、經濟學社會學等の研究が文物制度の上に大なる影響を現はした。近世の産業革命は經濟的社會的變動より延いて道德、教育、政治其他學術文化の諸方面に社會的觀念の發達を促し、其結果救濟事業も社會公共的福祉を其理想とするに至り、一面に社會政策研究の勃興を見るに至つた。即ち救濟事業は道德、宗教、政治、經濟、教育、衛生と共に科學的研究と社會的變遷の影響を受け茲に近代の社會事業が發達し來つた。斯くて歐米各國は何れも社會福祉及國力増進の目的を以て大に社會事業に力を用ひ、非常なる

發達を遂ぐるに至つた。

換言すれば昔時の斯業は所謂慈惠救濟の事業であつて個人救濟を主眼とせるが近代に至り産業の改革人口の増殖及都會集中等より生活難、貧民の増加其他種々なる社會問題を惹起した。これが爲め社會事業は貧困其他の弱者劣敗者救濟の問題を社會公共的見地より攻究し、社會共存の思想に基き相互扶助の精神によりて社會の根本的改良をなし福祉増進を圖ることが社會事業の任務となつた。斯くして斯業は社會の全般に互り社會改良の諸問題を根本的組織的に攻究することゝなつた。然も社會事業の精神は人道博愛であり其根本は信念でなければならぬ。斯くして斯業は救貧より進んで防貧の方面に最も力を用ふる事となり、是と共に近代の社會事業は社會改善の根本として最も兒童の保護を重んずるに至つた。社會事業は極めて組織的の發達をなし來り、其の部門は大別して(一)救貧事業(二)醫療及衛生、職業保護其他經濟的保護に關する防貧事業並に勞働者福祉事業、(三)社會教化事業及(四)兒童保護事業とに區分し得る。

社會の根本的改良としての兒童保護……『豫防の

爲めの一オンスは救助の爲めの一磅に値す』といふことは近代社會事業の信念である。救助でなくして豫防が近代社會事業の原則であり、姑息的慈善でなく根本的社會改良が現代の要求である。此處に於て斯業は兒童より出立するを最良とし、近代社會事業は兒童に最も力を用ふることゝなつた。兒童は實に將來の大人を豫言する。兒童は成型的資料であつて、善くも悪くも型とられる。彼の可能性は偉大であるが機縁を得なければ萎縮する。兒童のためにより多くの時と力を費すほど是が即ち繼續的且つ適當な資本となる。儲、兒童福祉の保護と言へば充分な身體的、精神的道德的發達を包含する。兒童期は準備時代であつて人間が其後に完成する處のものは寧ろ僅かである。社會は自己の改良のためにその勢力を種種に撒き散らすのを廢めて、宜しく是を一層兒童の上に集中すべきである。然らば同一勢力を以て、他の何れの途に依るものよりも、よりよき成果を實現し得やう。

兒童保護問題と幼兒保護……慈善博愛の精神より發した救濟事業が前述の如く近代に及んで社會の根本的改良を主眼とし、政治、産業、教育、衛生等と

關聯し、社會問題の全部に亙つて極めて組織的、科學的に攻究し施設せらるゝ事となつた。さうして兒童保護事業は社會の根本的改良の捷徑として、又社會事業の基礎として最も重んぜられる。これは社會事業問題に根本的科學的研究の結果であつて、兒童保護問題は兒童の出産死亡其他人口増減の考察、兒童の保健、教育、遊戲並教化等の一般的保護問題其他盲啞低能兒白痴兒、勞働兒童、不良少年、棄兒孤兒貧兒等の特殊的保護に至る迄諸方面の兒童問題に及んで居る。更に兒童發達の時期によりて考察すれば胎兒、乳兒及幼兒の保護、學齡兒童の保護並學齡後の兒童の保護と區分することを得。

楮、社會事業とその根本である兒童保護事業の組織は上述の如くであるが、幼兒保護問題は社會問題に於て最も基本的の位置を占める社會の改良、國力の増進の基礎となるものは次代の國民たるべき兒童殊にその基本たる幼兒の保護にある。然るに近代の社會状態なる生活難の増大、勞働者殊に婦人勞働者の慘狀都會生活の病弊等は何れも幼兒の健全なる發達を阻害し、且つ低能兒、白痴、不良少年の劇増を來す事が科學的研究に依り、益々明瞭となり來つた。

殊に歐米に於ては夙に人口並國民體位の消長に著眼し、幼兒殊に乳兒死亡の高率が最も國力消長に重大關係あることを覺り、是が保護に向つて大なる力を傾注し、徹底的に保護の方法を講じ、著々偉效を奏しつゝある。斯くの如く幼兒保護事業は社會事業の基礎にして最も重大なるものである。幼兒保護は胎兒乳兒の保護に溯り、妊産婦、母の保護を併せ行ふのである。生後滿一歳又は三歳迄を嬰兒、幼兒等と稱し、此の時期は最も哺育と健康上の保護を要するのであるが、學齡前迄は幼稚兒として健康の保護、養育及遊戲に關する保護並に幼兒教育等が極めて重要である。

## 第一、兒童保護の科學的研究

兒童保護問題の考察……上述の如く歐米に於て社會問題の根本として兒童保護問題が著眼され、多年兒童保護事業の施設と共に諸種の科學的研究を積み、斯業が益々學問的基礎を築き來つたのである。而して兒童に對する社會的保護の必要が大いに認められて來ると共に、兒童保護に關する社會國家の義務責任の觀念が大に發達し來つた。斯くて社會改善

の政策が進歩すればする程兒童に對する責任の發達を見る事となり、兒童に對し社會國家が極めて多くの權利を與ふる事となりつゝある。

兒童保護に關する今日迄の攻究の結果について考ふるに第一の問題は兒童の生命の保全である。

即ち母胎に宿り誕生すると共に與へられたその生命を力弱き兒童期の間最も適當に保全する事である。さうして兒童の生命保全に關する問題は第一に生命の統計的考察即ち出産、死亡、疾病等に關する調査に依りて研究の基礎を與へられた。

生命の保全に次いでの問題は健康保全である。兒童將來の發達の爲めに最も大切なるは心身の健康より大なるはない。健康なくては教育、訓練共に不可能である。兒童は強壯なる大人に成長すべき充分の機會と身體的訓練を與へられねばならぬ。今日の劇しい競争と社會的産業的生活の新要求により成長する兒童のために身體的準備をなさねばならぬ。斯くの如き兒童の生命及び健康の保全即ち保健問題の研究が兒童保護の基礎を成した。次に遊戯は兒童の基本的本能の一つであり、兒童生活の重要な部分である。遊戯は兒童の身體的精神的發達を増進し、社會

的道德的向上に大切な要素である。兒童が大人となる準備として最も重要なものは以上の如き兒童の心身の發達と共に教育的基礎を與ふることである。即ち文字、技藝の訓練及び道德的教育である。今日の複雑な社會生活に於て教育は驚くべき重要な位置を占める。然るに斯る教育は兒童の學齡に達するを待つて俄かに授くべきものでなく、幼兒の知識的發達が其の基礎を成す。故に幼兒の保健及び遊戯の保護と相俟つて幼兒教育が完全に普及せねばならぬ。以上は幼兒保護の一般的問題であるがこれと共に特殊なる兒童即ち家庭的頼りを失ひ又は放棄せられたる兒童等の特殊なる保護が亦極めて重要である。然し是等特殊の問題はこれを別に考ふることとする。

## (一) 兒童の生命保護の問題

兒童の生命に關する生活問題を審議するに於ては出生率及び死亡率を以て始めることが便利である。出生率の高低が必然的に死亡率の高低を意味せぬが、これらが相俟つて幼兒死亡を限定し、さうして兩者間の實際の關係が剩餘人口の基礎となる。

然るに、今は詳細な敘述の餘裕がないから、本邦

の人口統計的觀察と兒童死亡率低減の條件如何について少く考察することとする。

## 一、本邦の人口統計的觀察

**人口自然増殖率**……本邦に於ける人口の増殖の近き既往の最高率は明治四十四年の一三・九(人口千に付)であつたが、大正六年には一一・〇にして同五年よりも〇・二低く明治四十四年に比すれば二・九低い。大正七年の増殖率は僅か五・四のみである。斯く我邦の人口増殖率は減少の傾向にある。然るに歐洲は人口自然増殖率の減少を伴はない。是歐洲に在つても生産率は低下の趨勢を認むるけれども、死亡率がより以上低下しつゝある故である。

**國民健康の低下**……本邦人の平均年齢は年々短縮する傾向がある。是は本邦人の體質が年々衰へて來る結果である。國家の隆盛と富の本源は國民健康の増進にある。然るに我邦國民一般の健康状態は近年著しく退歩し、平均年齢は以前三十三歳であつたものが大正三年度には二十七歳強に下り、壯丁標準身長は以前五尺以上であつたものが五尺以下となり、その體量は明治四十三年度には四年以前に比し平均

一人につき九十四匁を減じて居る斯る状態は國民活力の消長上由々しき事實であつて識者は其原因を究め是を防止する途を講せねばならぬ。然るに斯る悲むべき状態より國家社會を救ふべき根本方策は實に、兒童保護問題である。

**生産死産及び死亡の趨勢**……本邦に於ける明治三十二年より大正七年に至る二十ヶ年間の生産、死産及び死亡の概況を示せば左の如し。

### 一、生産率。

本邦に於ける生産率は大體に於て高率であつて明治四十四年の人口千に付三四・〇が最高で明治四十四年以後低下し大正四年には三三・一、大正五年には三二・七、大正六年には三二・四、大正七年には三二・二であつて近時生産率低下の傾向がある。これは極めて重大問題である。

一九〇六年より一九一〇年に至る五ヶ年間平均によれば埃太利、匈牙利、獨逸は本邦よりも生産率高く、英佛二ヶ國は低く、伊太利は本邦と同率である。

### 二、死亡率。

明治三十五年の人口千に付三・四が最高で、明治三十八年の三・〇が最低である。大正元年以後は常に

三・〇以下となり、大正四年二・六、大正六年二・五と漸次低下しつゝある。

### 三、死亡率。

一般死亡率は明治四十二年には人口千人に付二一・九にして大正二年の一・九、四迄漸次低下したるも同三年に上昇し、四年僅かに低下し五年稍々上昇し六年僅かに低下し七年俄然上昇し二六・八となり之を最高とす(但し流行性感冒の影響も加つた)本邦に於ては生産率は既に低下しつゝあり死亡率は却つて最近に於て著しく上昇しその高位を持續して居る。斯の如きは寔に重大事である。歐洲に於ける死亡率の低下は小兒死亡及び青年者の死亡減少に由るも、本邦に於ては之と全く反對に總死亡率の増加は主として小兒及び青年の死亡増加に由るものであつても寒心に耐へない。

### 四、乳兒死亡率。

我邦は二十世紀初頭迄は一歳未満の乳兒死亡率の低きを以て歐米各國に優つたが爾後その率増加し來つた。最近十五ヶ年間(明治三十七年より大正七年に至る)の乳兒死亡率(生産千に付)を見れば明治四十年の一・五一が最低で漸次上昇し大正六年には一七・三

の高率を示し大正七年には一八九となつた。

我邦は文明國中最高の乳兒死亡率を示し、歐洲三國に於ける五十年前にも比すべき不良の状態である尙ほ生後一ヶ月以内の死亡率が最も高きことは各國共通の事實であるが我邦の如く高率なのは稀である、我邦では明治三十二年より大正二年に至る十五ヶ年間の乳兒死亡中一ヶ月以内の死亡率は四八・八に達す。

### 五、小兒死亡率

一歳以上五歳迄の小兒死亡の各年齢級に於ける本籍人口に對する比數は次表の如くである。

年 別	一歳以上五歳迄の各年齢級に於ける本籍人口に對する比數					計
	一歳より二歳	二歳より三歳	三歳より四歳	四歳より五歳	五歳	
自明治三十二年	三八・九	二七・六	一八・七	一二・三	二四・九	
至同三十六年	三九・七	二七・三	一八・五	一二・四	二五・一	
自同三十七年	四七・八	二七・五	一六・九	一〇・八	二六・四	
至同四十二年	五二・〇	二九・〇	二八・八	一二・三	二八・四	
自同七三年						

明治三十二年以降五年毎に於ての一歳以上五歳迄の小兒死亡の各年齢級に於ける率は二歳以上は皆減

少しつゝあるも一歳以上二歳未満の死亡著明に増加しつゝあるを以て一歳以上五歳未満の計に於て漸次増加の傾向を示した。即ち最低二四・九最高二八・四である。乍然大正三年乃至七年は孰れの年齢階級に於ても増加し最高率を示すに至つた。是等幼児の死亡率も歐洲諸國に比し著しき高率である。

### 六、産婦死亡率。

産婦の死亡率に於ても年々六萬三四千人を數へ人口十萬人に對し一三・三の割合を示す。是れ亦伊、佛、普、英、新地蘭等に比し著しく高率では等諸外國中伊は最低にて八・九新地蘭は最高であるが二・九に過ぎない。

本邦の胎兒及乳兒死亡率と外國との比較……別項記述の如く我邦に於ては死産、産婦の死亡及一ヶ月以内の乳兒死亡等が何れも他の文明諸國に比し著しく高率である。これによつて見ても我國に於ては母體及胎兒等の保護が極て不行届な事が明かであつて母性保護は我邦に於て最も重大緊要な問題である。

左表の如く歐洲各國に於ては一歳未満の乳兒死亡率は二十年前には新地蘭を除く外は、大低我邦と大差なく且つ獨逸、伊太利殊に壤地利の如きは其率が

我邦よりも高かつた。然るに是等歐洲の文明國に於ては斯く乳兒死亡率の高きことは國家民族の消長に關し最も重大の問題であることを認め胎兒並乳兒の保護に對し非常の努力をなした。其結果二十年此方上記歐洲諸國は勿論其他歐米の文明國は何れも漸次乳兒死亡率は一時僅かに低減したるも後年々増加の傾向を示す。即ち最近大正四年に於ては生産千に對する死亡一六〇翌年には一七〇となり更に次第に増加の傾向がある。且つ都市に於ては一層甚だしく歐米の大都市に比し實に夥しき高率である。外國にても一九一三年(大正二年)には何れも多少の増加を見たが、其後の數年間に於ては世界大戰中も英佛白の如き却つて乳兒死亡率の減少を示した。

### 各國乳兒(一歳未満)死亡率

比較 (生産千に付)

日	本	一	二	三	四	五	六	七	八	九
年	九	〇	百	九	千	九	千	九	千	九
(年)	二	四	百	九	千	九	千	九	千	九
年	三	十	百	九	千	九	千	九	千	九
(年)	四	十	百	九	千	九	千	九	千	九
年	二	十	百	九	千	九	千	九	千	九
(年)	五	元	百	九	千	九	千	九	千	九
年	三	二	百	九	千	九	千	九	千	九
(年)	四	三	百	九	千	九	千	九	千	九
年	五	四	百	九	千	九	千	九	千	九
(年)	六	五	百	九	千	九	千	九	千	九
年	七	六	百	九	千	九	千	九	千	九
(年)	七	六	百	九	千	九	千	九	千	九
年	八	七	百	九	千	九	千	九	千	九
(年)	七	七	百	九	千	九	千	九	千	九

英	佛	伊	獨	和	瑞	諸	ニ	塊	白
吉	蘭	太				威	ユ	地	耳
利	西	利	逸	蘭	典	七	二	利	義
〇九	一八	一五	一七	九	七	二	六	〇九	一三七
一〇	一一	一四	一六	一〇	二七	七	二	八九	一三四
五	二	二	二	八	五	二	六	一〇七	一四七
三	七	五	九	三	五	七	八	〇七	二〇七
〇	七	三	二	七	二	二	八	一八〇	一一〇
三	八	三	二	七	七	七	六	五九	一
〇	八	七	五	〇	〇	八	六	五	一
五	二	二	二	九	七	五	八	〇	一
二	一	一	一	五	二	〇	六	五	一
〇	一	一	一	八	一	七	八	〇	一
九	九	九	九	七	九	七	九	〇	一
九	九	九	九	九	九	九	九	〇	一
六	六	六	六	九	九	九	九	〇	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

各國都市に於ける乳兒(一歳)  
未滿)死亡率比較 (生産子に付)

東	大	京	古
京	阪	都	屋
市	市	市	市
一七	二五	二〇	一六
七	四	二	四
・八	・四	・二	・二
大	同	同	同
正	同	同	同
六	同	同	同
年	同	同	同
度	同	同	同

横	神	倫	組	リ	モ	ブ	エ	コ	ペ	ス	バ	セ	ク	デ	ホ	パ	シ	バ	ヨ
濱	戸	敦	育	ン	ント	カ	ゼ	ツ	ル	ト	ン	ン	リ	ト	ス	ツ	カ	ル	ク
市	市	敦	育	(米)	(加奈陀)	(ルーマニア)	(英)	(丁抹)	(瑞西)	(瑞典)	(加奈陀)	(アイス)	(グランド)	(イ)	(ト)	(ア)	(カ)	(チ)	(英)
一九	二一	一〇	九一	一一	一八	一九	一〇	一〇	八一	八〇	六一	九四	九七	一一	一一	一一	一一	一四	九七
・八	・五	・七	・七	・〇	・五	・四	・〇	・三	・〇	・一	・七	・四	・四	・七	・八	・五	・三	・七	・〇
・九	・〇	・九	・七	・〇	・八	・四	・〇	・六	・〇	・一	・七	・四	・四	・七	・八	・五	・三	・七	・〇
大	同	一	同	一	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
正	同	一	同	一	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	同	一	同	一	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
年	同	一	同	一	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
度	同	一	同	一	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

アムステルダム(和蘭)	六四・九	一九一四年(大正三年)
マンチエスタ(英蘭及ウエールス)	一〇七・〇	一九一八年(大正七年)
バーミンガム(同)	九七・〇	(同)
ブリストル(同)	九二・〇	(同)
ニューカッスル(同)	一〇八・〇	(同)
ダーリントン(同)	一一四・〇	(同)
リヴァプール(同)	一二六・〇	(同)
セフイーールド(同)	一二八・〇	(同)
ワールリントン(同)	一〇一・〇	(同)
リンコルン(同)	七三・〇	(同)
オクスフォールド(同)	六二・〇	(同)
カンターベリー(同)	五八・〇	(同)
ブレーメン(獨逸)	一四八・五	一九〇四年(明治卅七年)
ミュンヘン(獨逸)	二一〇・一	一九〇八年(明治卅七年)
ライプチヒ(同)	二〇三・七	五箇年平均(同)
ハンノヴェー(同)	一五五・五	(同)
スツットガルト(同)	一八〇・二	(同)
ストラスブルグ(同)	一八九・六	(同)
ハンブルグ(同)	一六〇・一	(同)

フランクフルト(獨逸)	一四九・九	一九〇四年(明治卅七年)
ドレスデン(同)	一七六・九	一九〇八年(明治卅七年)
ケルン(同)	二〇九・五	五箇年平均(同)
ブレスラウ(同)	二二二・一	(同)
アルトナ(同)	一七八・八	(同)
伯林(同)	二二八・五	(同)

我邦は古來母乳哺育が廣く行はれ而も哺乳期間の長いことは乳兒保育上外國に比して大いに優つた特長である。内務省の調査に據れば乳兒の約七割は母乳哺育である。然るにそれが外國に於ては約二・三割内外に過ぎぬ。母乳哺育が乳兒死亡の減少の上に如何に有效なるかは明かな事實である。それにも拘らず。母乳保育の行はれ難き歐米諸國の方が我邦よりも乳兒死亡率の著しく低減したのは全く胎兒、乳兒等の保護に各國共非常な力を用ひ來つた結果である。然るに我邦に於ては斯く乳兒の死亡が夥しく高率にして而も年々増加の傾向がある。且つ乳兒死亡の多き地方は壯丁の體位も劣ること事實の示す處である斯くの如きは實に國力消長上の重大問題であつて、これが爲め我邦に於て大いに胎兒乳兒及幼兒の保護の運動及保護施設の勃興を促さねばならぬ。

責任を以て推奨する

# 彩色帖とクレオン

自然の衝動により微細筋を反覆練習して腦の中樞に技工の傾向を作らんとする最善の材料として研究されつゝありし彩色帖と之を彩るクレオン(筆の軸大の色鉛筆の心の固まり)は完全に出来上り

○彩色帖の繪は最も單簡にして而も其の情趣眞に迫る

○繪柄は子供の日常經驗せる且つ最も喜ぶものを選び

○繪の數は一ヶ月四枚宛四十八圖一ヶ年分

○上等畫學紙八ツ切に印刷し彩るべき面積充分なり

○定價 彩色帖 參拾五錢、クレオン六色入一箱 參拾錢 見本代七拾錢前金のこと

東京 神田 今川 小路

株式會社 フレーベル館

電話 九段 一三〇七  
振替 東京 一九六四〇

日本幼稚園協會編

四六列上製本全一冊  
定價金參圓八拾錢  
送料金拾貳錢  
優美なる新裝函入

訂正第二版

# 幼児に聽かせるお話

## お待兼の再版出來賣

このお話の本は、お茶の水の幼稚園に於て數年に亙つて、園児に聞かせたお話の中から、子供が三度も五度も繰返して聞きたがつた特別に面白いものを、更に百種選り抜いたものです。つまり無邪氣な、眞實な子供によつて、嚴密な審査を経た譯で、すから、幼稚園は申すに及ばず、一般の御家庭でも安心して、すぐ其儘讀んで御聞かせになる事が出來ます。其上倉橋先生の「幼児教育の手段としてのお話」と言ふ講話を附録として添へてある事も、此本の特色です。編者は自信と勇氣とを以て、皆様に御勧め致し得ることを悦びます。

賣切れぬ内に速く!!

目次の内容の御覽下さい

お指太郎 平三さん 襪藏さん 雲雀  
花と草 百合子さんの夢 鯉城 燕の  
旅行 燕チナイ 雀の飛行船 ビヨ  
笹太郎 青蛙物語 羽折れ雀 小人の  
似ひきがへるのプツツ 狼の赤ら  
人羊の七夕様 お星様 羊と狼の  
人形の旅行 ロビンソン 雷様の太鼓  
話 富士さんのお風船 怪ヤグルソ  
雑園が初まるの飛行機 お月見の黒  
お月様の籠 月の井戸 白兔の腹  
お地蔵様 太陽と鬼 天狗の足  
アチアチとマナチアア 象の魚釣  
鬼の手柄話 つれたの鬼の話 神  
象と鯨の綱引 太郎の節 成の明  
の天狗 健太郎の節 成の明  
の白鳥 力丸の節 成の明  
風船 三人の力丸の節 成の明  
ばり節 三匹の力丸の節 成の明

魂の片耳 ●熊太郎 ●雲の朝 ●雲の御殿  
●雪の餅 ●駕の語 ●小人島 ●豆藏の行  
●小太 ●叔母さん ●どんぐり小坊  
主 ●トロッヤの本馬 ●コロリン ●爺さん  
車煎餅 ●人形の病院 ●桃の種 ●可愛ら  
車のお客 ●招待 ●二郎さんのゴム  
●お菓子の世界 ●お菓子の御殿 ●動物  
の國 ●鳥と獸の戦争 ●小さいパン ●鬼の  
御殿 ●不思議な筆 ●アリス物語

附録 ●幼児教育の手段としてのお話 ●第一、お話の本質と價值 ●お話の定義 ●お話の起源 ●お話の形式 ●お話の價值 ●お話の内容 ●お話の目的 ●お話の形式 ●お話の價值 ●お話の内容 ●お話の目的 ●お話の形式 ●お話の價值 ●お話の内容 ●お話の目的 ●お話の形式 ●お話の價值 ●お話の内容 ●お話の目的

發行所 內田老鶴圃

東京日本橋區傳馬町二丁目  
振替東京壹圓四十六番  
電報號壹參參五番

明治三十四年一月二十八日第三種郵便物認可(毎月一回十五日發行)  
幼兒教育 第二十一卷 第九號 大正十年九月十五日發行

印刷所 合資會社 杏林會